

(様式 8)

東京都立小峰公園 事業計画書

申請年月日 令和4年8月26日

団体名	公益財団法人 東京都公園協会	
代表者氏名	理事長 佐藤 伸朗	
所在地	東京都新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康プラザハイジア9・10階	
電話番号	03-3232-3011 (代)	
メールアドレス		
担当者名	所属： 公園事業部 事業管理課	氏名：

※この書式のほかに事業計画書の概要版を添付すること（A4判2枚程度、様式任意）

このページは空白です

目 次

I	事業方針	
1	管理運営に対する基本方針について	
	(1) 管理運営に対する基本的考え方と重視する視点	1
	(2) 申請者のノウハウを活用した業務展開	3
II	事業計画	
1	人員配置計画	
	(1) 人員配置計画 《様式 8-1》	5
	(2) 適切な管理運営を行うための人材の確保と職員の技術・能力向上への取組	7
2	運営計画	
	(1) ビジターセンターの機能と事業展開	8
	(2) 利用者ニーズの把握への取組	9
	(3) 質の高いサービス提供への取組	10
	(4) 施設の広報に関する取組	11
	(5) 地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組	12
	(6) 業務効率化への取組	13
	(7) 運營業務計画書（年間予定）《様式 8-2》	14
3	管理計画	
	(1) 適切な維持管理を行うための取組	15
	(2) 事故、自然災害等を未然に防ぐための安全対策及び発生時の対応	16
	(3) 里山らしい景観や生態系に配慮した植生管理への取組	17
	(4) 稀少動植物保全への取組	18
	(5) 管理業務計画書（年間予定）《様式 8-3》	19
4	自主事業	20
III	支出計画等	21






基本理念

「多摩の里山見本園」の魅力を高める 5つのVisionと3つの方針

私たちは、長年に渡り公園管理を行う公益法人として、「**緑と水 まちを豊かに**」の経営理念を有しています。「5つの Vision」に基づく管理で人々に安らぎとゆとり、屋外レクリエーションの提供、地域活性化等を行い、公園や地域の価値を高めます。

小峰公園の管理にあたっては、これまでの実績を踏まえた基本理念と管理のための「3つの方針」から「多摩の里山見本園」の魅力をより広げていきます。

●公園に新しい風を吹かせる「5つの Vision」

<p>Vision I</p> <p>みんなをスマイルに！</p>	<p>誰もが緑と水に親しみ、安全で快適に利用できるよう、おもてなしの質を向上させるとともに、安全で快適に利用できる施設の提供に努めます。</p>	 <p>信頼&フレンドリー スタッフのスマイル接客</p>
<p>Vision II</p> <p>備えあれば憂いなし！</p>	<p>ハザードマップやタイムライン等の備えから、気象災害の普及啓発に努めます。また、地域住民や山岳救助隊と連携し、周辺地域の状況も把握しながら、園内の安全管理と事故防止に努めます。</p>	 <p>安全安心な自然公園の 利用を促進する環境整備</p>
<p>Vision III</p> <p>公園を中心にWAになろう！</p>	<p>健康増進や育児、ワーケーションでの公園利用など、企業・団体、学校等と連携したプログラムにより、公園から地域の魅力向上と活性化に貢献します。</p>	 <p>コミュニティを促進する イベントを開催</p>
<p>Vision IV</p> <p>地球の恵を感じて！</p>	<p>造園・植物の専門家を擁するとともに、神代植物公園植物多様性センターや緑と水の市民カレッジの活動、学識経験者との連携を通じ、豊かな生態系を次世代に継承します。</p>	 <p>多様なプログラムによる 生物多様性の普及啓発</p>
<p>Vision V</p> <p>公園の魅力をもっと！</p>	<p>都民や専門家、企業・団体等との連携から公園の価値を高め、継承していくプログラム・イベントを実施します。また、人々の心を魅了する樹林や樹木の景観など、公園の魅力を発信します。</p>	 <p>多様なニーズに応え 公園の新しい価値を向上</p>

●小峰公園のこれまでの歩み

これまでの指定管理期間(H20～R4年度)では、「東京の自然公園ビジョン」を踏まえ、「多摩の里山見本園」の機能が十分に発揮できるよう、里山の環境保全や環境教育への展開、ボランティアや関係者と連携した地域振興を行い、価値・魅力の発信を進めてきました。

※「多摩の里山見本園」とは、ビジターセンターを核として、園内に里山環境を再現し、来園者が体験を通して、人と自然との関係を学ぶことができる公園のことです。

- 第1期
 - ・地元あきる野市とともに「里山見本園」の基盤を構築
- 第2期
 - ・地元から広域団体へ「里山見本園」の普及
- 第3期
 - ・地域連携を活かした「里山見本園」の活用
- 第4期
 - ・地域とともに「里山見本園」のさらなる拡充と展開を目指す

●管理運営の基本理念

これまで充実させてきた「多摩の里山 見本園」の基盤をもとに、自然解説員によるオーダーメイドプログラム、ティーチャーズガイドなど公園の豊かな自然(資源)を活かした環境教育の提供、体験プログラムの充実など、「新しい日常」に対応した多様なニーズに応える取組を行います。

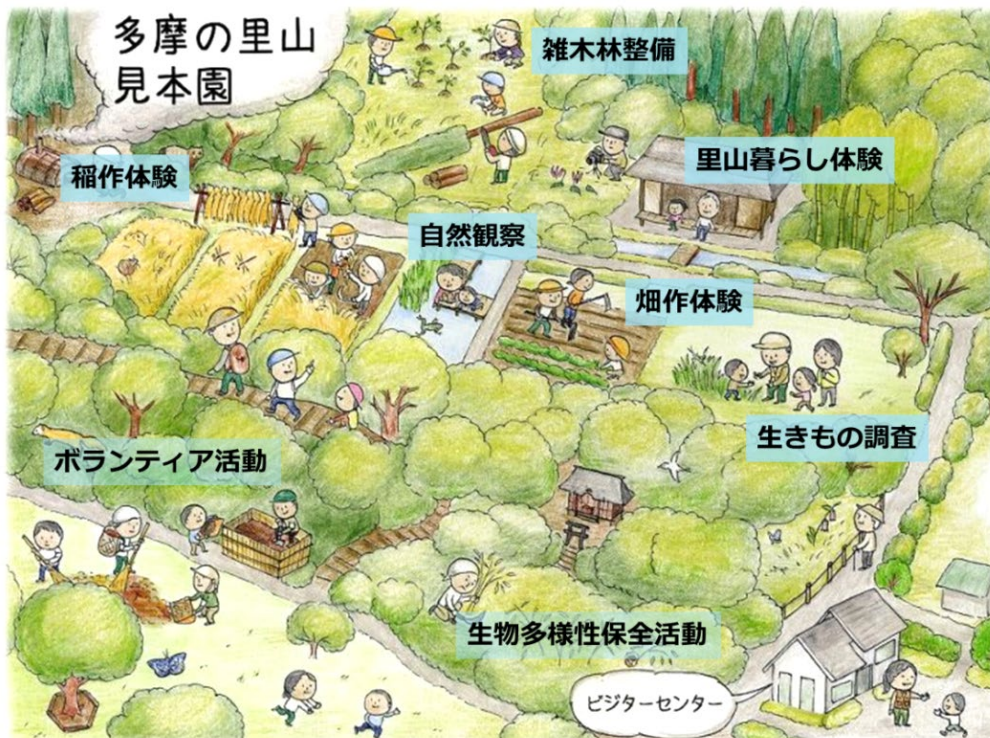
第3期までに築いた連携をより強い絆とするため、都民協働や地域連携のネットワークを発展させ、小峰公園のさらなる魅力の向上に努めます。

自然×人

体験×交流

地域×∞

多様な生きものたちと織りなす「多摩の里山 見本園」



●管理のための3つの方針



生物多様性 ～里山と自然～

秋川渓谷の豊かな自然、多様な動植物を身近に感じられる「多摩の里山」環境を守ります。

- モニタリング調査・分析に基づいた生物多様性保全と再生、里山環境の管理、景観維持を継続します。
- 公園協会で管理する他の都立公園グループや地元自治体との連携を進め、秋川渓谷の自然環境に配慮した維持管理を継続します。



歴史・文化

～里山と暮らし～

秋川渓谷に受け継がれる歴史、文化等を感じ、体験できる場として、「多摩の里山」の暮らしを次世代に伝えます。

- 田んぼ、畑、雑木林の保全活動や発生材を活用した昔遊び体験などを通じて、里山暮らしの文化を次世代に継承します。
- 地域住民やあきる野市の施設等と連携し、「秋川谷」の炭文化や特徴的な地形など、秋川渓谷全体に目を向けた普及啓発に取り組みます。



広域連携

～里山と人々～

秋川渓谷ならではの「多摩の里山」の魅力、価値を引き出し、あきる野市等と一緒に地域の活性化に取り組みます。

- あきる野市や周辺施設とともに、秋川渓谷の観光資源としての魅力・価値を高め、地域全体の振興につなげます。
- 魅力ある自然環境を活かし、あきる野市等地域と連携したマイクロツーリズム誘致のための体験プログラムを提供します。

ノウハウの
活用

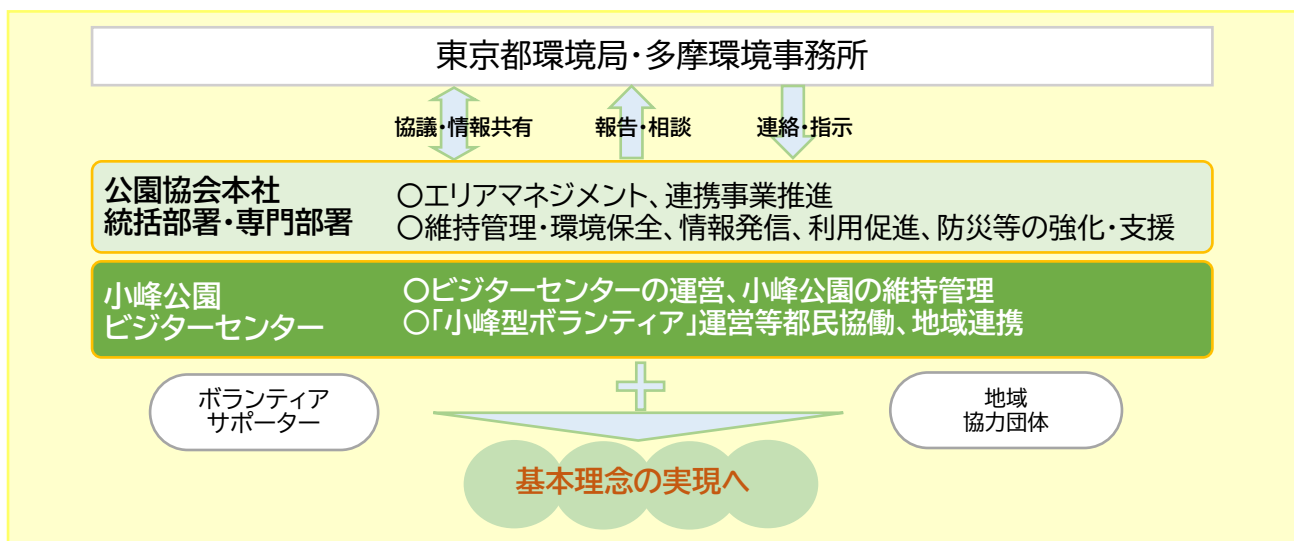
組織のサポート力と自然公園管理の 実績を活用

私たちが都市公園において長年にわたり培ってきた公園の運営・維持管理、環境保全、利用促進、情報発信、防災などの専門力を組織的に発揮し、総合的な施設管理を行います。また、平成2年から継続してきた自然公園管理の実績を活かし、経験豊かなスタッフが専従する管理運営体制を継続します。

さらに、環境保全や環境教育等の分野で、地域や社内外の専門機関との連携・協働を進め、多様化する利用者ニーズに応える管理運営を行います。

●組織的な管理運営体制

小峰公園ビジターセンターと本社統括部署・専門部署が業務を分担し、より組織的な管理運営体制を構築、確実に効率的な事業執行体制を確保します。



●継続的な管理による豊富なノウハウと業務への展開

里山環境の保全ノウハウ

- ▶ 自然解説員による希少動植物のモニタリング調査や生態展示、ガイド、環境教育プログラムの普及啓発活動
- ▶ 「選択的除草マニュアル」などの植生管理経験に基づいた動植物の生育環境保全活動、外来種駆除作業
- ▶ 公園協会のネットワークを活用した他の都立公園・施設との技術連携
 - ・小山田緑地サービスセンター職員とのオオムラサキ合同調査
 - ・神代植物公園植物多様性センターと連携したツレサギソウの結実・培養



4期での展開

希少動植物のモニタリング調査結果に基づき、園内での生物多様性保全活動、多彩な展示、環境教育プログラム等を行うとともに、SNS等での情報発信や外部組織へのデータ提供等、広く活用していきます。

また、神代植物公園植物多様性センター等の社内専門部署との連携をさらに強め、ボランティアや子ども達等、調査や保全活動を通じて生態系を守り、育てる担い手を育成します。



協働・地域連携のノウハウ

- ▶「小峰型ボランティア」の人材育成・スキルアップ
 - ・田んぼ、畑等でのプログラム運営
 - ・協働でのモニタリング調査、保全活動
- ▶あきる野市や秋川渓谷観光関係機関連絡会と連携した観光キャラバン等での広報活動
- ▶長年にわたる地元住民やあきる野市市民解説員、秋川漁業協同組合、檜原都民の森等との信頼関係の構築によるイベント実施
 - ・さくらまつり ・収穫市 ・古道めぐり ・つながる里山展示 等

4期での展開

「小峰型ボランティア」の育成にさらに力を入れ、イベント運営だけでなく、里山の自然を楽しみながら守る維持管理も協働で取り組みます。

あきる野市や檜原村に拠点を置く団体、企業等と連携し、地域振興につながるマイクロツーリズム誘致に向けて、秋川渓谷の歴史、文化、暮らしを感じ、体験できるプログラムの拡充、新規開発を行います。



情報発信ノウハウ

- ▶公園協会のスケールメリットを活かした多様な広報媒体での情報発信
- ▶ニュースレター「小峰だより」の毎月発行、周辺施設等約120箇所での配布
- ▶全ての都立公園を掲載した公式サイト「公園へ行こう！」内の専門サイト「自然公園へ行こう！」での多言語による情報発信
 - ・スタッフブログでのイベント報告
 - ・季節の動植物情報発信
 - ・「小峰だより」、ハイキングマップ等のダウンロードサービス



4期での展開

専門サイト「自然公園へ行こう！」、Twitter、YouTube等で、動画やQRコードを活用し、リアルタイムでの情報発信を進めます。また、本社広報担当部署と連携し、新たな広報媒体を発掘、活用します。

あきる野市や秋川渓谷観光関係機関連絡会のつながりや、沿線鉄道会社グループ等との連携を強化し、より広いニーズを捉えた情報発信を効果的にいきます。



【人員配置計画書】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他 (具体的に)		
ビ ジ タ ー セ ン タ ー 配 置 人 員	ビジター センター長	管理運営責任者	公園管理運営士、防火・防災管理講習修了、 救命講習修了、公園管理経験3年以上	○		—		40	
	自然解説員	【利用サービス】 VC 運営（プログラム企画実施、展示作成、解 説等）、自然環境調査、ボランティア連携等	公園管理運営士、救命講習修了、広報、催 事等経験者、公園管理経験1年以上	○		—		40	
	自然解説員	【利用サービス】 VC 運営（プログラム企画実施、展示作成、解 説等）、自然環境調査、ボランティア連携等	自然解説・自然環境調査、または類似の業 務経験、知識、技能を有する者		○	—		40	
	自然解説員	【利用サービス】 VC 運営（プログラム企画実施、展示作成、解 説等）、自然環境調査、ボランティア連携等	自然解説・自然環境調査、または類似の業 務経験、知識、技能を有する者		○	—		40	
	園地作業員	【施設サービス】 巡回、施設点検、維持管理作業等	施設管理、または類似業務経験者		○	—		10	
	園地作業員	【施設サービス】 巡回、施設点検、維持管理作業等	施設管理、または類似業務経験者		○	—		10	
	園地作業員（清 掃担当）	【施設サービス】 清掃作業、巡回、施設点検等	清掃業務、または類似業務経験者		○	—		10	
委 託 業 務	自然解説員	【利用サービス】 VC 運営（プログラム企画実施、展示作成、解 説等）、自然環境調査、ボランティア連携等	自然解説・自然環境調査、または類似業務 経験者	—	—	○			

※一行につき、職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営する上で必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定の上で記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

※行が足りない場合は、追加してください。

Ⅱ 事業計画 ▶ 1 人員配置計画 ▶ (1)人員配置計画

【ローテーション表】

	勤務時間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月	
ビジターセンター長	40		○		○	○	○	○			AM会議	○	○		○	○		○	有	○			○	○	○		○	○	○			○	
自然解説員	40			○	○	○	○			○	○		○	○		○	○		○		○	○		PM研修		○	○	○		○	○	有	
常勤職員出勤人数		0	1	1	2	2	2	1	0	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	1	
自然解説員(非常勤)	40			○	○		○	○		○	PM研修	有	○	○		○	○		○	○	○				○	○	○		○	○	○		
自然解説員(非常勤)	40		○	PM研修		○	○	○			○	○		○	○	有		○	○		○		○		○		○	○	○	○	○	○	
園地作業員	10			○			○			○			○				○		有	○			○			○				○			
園地作業員	10			○			○			○			○				○			○			○			○				有	○		
園地作業員(清掃担当)	10		○				○			○				○		○			○			○			有		○		○				
非常勤職員出勤人数		0	2	4	1	1	5	2	0	4	1	2	2	3	2	1	3	2	2	3	2	2	1	2	2	1	5	1	3	1	4	1	
自然解説員(委託)	30		○				○	○			○			○	○		○			○	○			○		○	○		○		○	○	
自然解説員(委託)	10				○					○						○						○	○				○		○				
委託従事者出勤人数		0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
総出勤数		0	4	5	4	3	8	4	0	5	4	4	4	5	4	4	5	3	3	5	4	4	3	5	3	3	8	4	5	3	6	3	
行事等		休館日			オーダーメイドプログラム		VC会議	イベント	休館日					イベント		夏季開館日			グループ会議				夏季開館日				防災訓練	オーダーメイドプログラム	イベント	夏季開館日			

※○：出勤者 ■：当日の責任者
有：有休

人員配置

ビジターセンターにふさわしい スペシャリスト人材の配置

小峰公園では、園内動植物の生育状況や周辺地域の生物多様性環境を熟知した自然解説員が、長年にわたり調査、保全、普及啓発を行い、ビジターセンターを訪れる多様な人々のニーズに応じてきました。また、公園を飛び出し、自治会やあきる野市の施設等での活動に積極的に参加してきたことにより、地域の方々からコミュニティの一員として確かな信頼を得ています。

これまで築き上げてきた信頼関係を大切に、引き続きスペシャリスト人材を配置し、ボランティアとの協働により、「多摩の里山 見本園」を守り、来園者や地域の方々に親しまれるビジターセンター運営を行ってまいります。



● 「多摩の里山 見本園」を実践するスペシャリスト人材

「公の施設」管理者としての心構えや姿勢を持ち、地域活性化を生み出すコミュニケーションやホスピタリティ能力の高い職員が管理運営に携わります。

小峰公園を取り巻く自然・歴史・文化を熟知したスペシャリストを配置します

- 🌿 自然解説や動植物の生態展示を専門とする自然解説員を配置し、分かりやすく学べる展示やプログラムを企画・実施します。
- 🌿 地域の歴史・文化に精通し、地域コミュニティの一員として受け入れられる人材を擁する専門業者による展示、プログラム運営等を行います。

職員間での動植物の保全ノウハウの継承体制を構築します

- 🌿 動植物の情報を蓄積・共有し、継続的な保全を実施、「多摩の里山」環境を未来に継承します。



専門性・技術力を有する有資格者により、小峰公園の質の高い管理を実現します

公園協会に所属する有資格者例

- 【国家資格】 1級・2級造園施工管理技士(55)、1級・2級土木施工管理技士(17)、一級・二級建築士(6)、一種・二種・三種電気主任技術者(2)、一種・二種電気工事士(6)、監理技術者(4)
- 【民間資格】 公園管理運営士(140)、防災士(122)、樹木医(6)、ビオトープ管理士(6)、プロジェクトワイルド(20)、自然観察指導員(16)

● 職員の効率的・効果的な配置

- 自然解説員を毎日(休館日を除く)1名以上配置し、展示解説や情報提供等ができる体制を継続します。また、繁忙期等を反映した勤務シフトを組み、イベント開催日には自然解説員が3名以上で参加者対応にあたる等、効果的な配置を行います。
- 園地作業員が効率よく維持管理作業をできるよう、草刈、剪定等の作業は複数名で、清掃作業については繁忙期を踏まえて実施する等、勤務シフトを調整します。
- 開園当初からの地域とのつながりを大切に、地元からの雇用を優先します。

● 職員の能力向上の取組

- 長年のノウハウを踏まえた公園管理に必要な総合的スキル(接遇・コンプライアンス・VC業務)を育成する研修・OJTを行います。
- 動植物のモニタリング調査、生育環境保全活動、自然解説、展示等のスキル向上のため、インタープリテーションなどの専門的な研修参加、検定受験を推進します。

「小峰型ボランティア」の拡充

小峰公園では、ボランティアを自然解説員のサポーターとして育成し、イベント運営や動植物の保全活動等を協働で実施しています。

協働による公園の管理運営をさらに拡充するため、ボランティアの人材育成を強化します。

- ・自然解説員のOJTによる解説、維持管理作業スキルの向上
- ・あきる野市市民解説員等との相互協力による地域の歴史、文化への理解促進



ビジターセンター事業

人々と自然・地域が 出会い交わるビジターセンターに

小峰公園の基本理念「多様な生きものたちと織りなす『多摩の里山 見本園』」を実現するため、ビジターセンターの案内、解説業務やイベント等を通じて、ここでしか体験できない「里山と自然」「里山と暮らし」、公園を飛び出し秋川溪谷の「里山と人」に触れ合い、交流できる機会を提供します。

利用者に寄り添う案内・情報提供

- ▶ 窓口や掲示物による園内外の自然情報、今熊山や金剛の滝など周辺地域の散策や登山時に必要な危険箇所等の最新情報の提供
- ▶ いつ訪れても園内や地域の自然、歴史、文化等を詳しく知ることができるセルフガイドシートやニュースレターの発行
- ▶ 人気の周辺ハイキングコースを安全に散策するための情報を漏れなく記載したハイキングマップの更新・配布



地域の中での小峰公園を意識した解説・展示

- ▶ 「つながる里山」をテーマに、秋川溪谷の自然、歴史、里山暮らしの文化など、地域住民や地元漁業組合等の協力による地域に根差した展示を、季節に合わせて年4回実施
- ▶ 園内の動植物やイベント関連の展示はリアルタイムで更新し、いつ訪れても新鮮な里山との出会いを提供
- ▶ ティーチャーズガイド、オーダーメイドプログラムなど、知りたいニーズに合わせた新しい魅力を発見する解説を提供



休憩・避難機能の充実

- ▶ 園内活動や周辺散策を安心して行っていだけるよう、飲料等の健康管理に必要な物販を実施
- ▶ 登山の拠点として、地元警察(山岳救助隊)と連携した「登山届ポスト」の設置や緊急時の連絡等を実施
- ▶ 地域の防災訓練に参加し、地域の人々に避難場所としての情報をPR



貴重な自然を守り伝える活動

- ▶ 「小峰型ボランティア」や都民との協働によるモニタリング調査を実施し、SNS での情報発信や外部専門機関等へのデータ共有を実施
- ▶ 神代植物公園植物多様性センターと連携したツレサギソウの結実・培養等、社内外の専門機関と連携した貴重種の保全、生育環境向上の取組を継続
- ▶ あきる野市や周辺地域、他の都立公園・VC と連携した生物多様性保全に係る情報共有、情報発信



ニーズ対応

ICT を活用した 的確で公平・親身な利用者対応

多様な利用者からの要望・苦情を把握し、ICTサービスなどを利用して対応プロセスを見える化し、公園管理に反映させることで、利用者満足度（CS）の高い利用者体験（CX）につなげます。

● 要望・苦情を管理運営に活かす仕組み

① 情報収集

要望・苦情は魅力向上のチャンス！

- ・従来の対面コミュニケーションに加え、ICT を活用して様々な利用者層に対応するチャンネルを設け、時代の変化に対応した新しいコミュニケーション方法により、多様化する幅広いニーズを汲み取ります。
- ・問合せフォームやチャットボットの導入により、休館日にも本社等で要望・苦情をリアルタイムで把握し、利用者の利便性を向上させます。
- ・安全安心に係る緊急性の高い情報は、直ちに警察・消防や東京都に連絡の上、迅速に対応します。

対面サービス					
	窓口・電話	職員巡回	イベント・ボラ活動	ご意見箱	顧客満足度調査
ICTサービス					
	都立公園ポータル	ソーシャルアプリ	チャットボット	SNSマーケティング	
コミュニケーション	スタッフの親切で丁寧なフレンドリーコミュニケーションにより、ワンストップで各種問合せや広く利用者の声を収集		現地でも広く利用者の声を収集	公園毎に利用者の満足度やニーズを把握	
	HPの問合せフォームにより、24時間利用者の声を受付	コラボレーションツール導入により、パートナーシップ活動を促進	チャットボットにより、利用案内やルール等を24時間自動応答	SNS上の様々な公園情報をAIが自動収集・分析・報告	

② 情報蓄積

すぐに参考情報にアクセス！

- ・「利用者の声登録システム」によるデータベース化で、これまでの類似案件、対応履歴などの参考情報にすぐにアクセスでき、質の高い公園管理につなげます。

③ 対話・対応

とことん話し合います！

- ・VCが関係法令及び利用ルール等に基づき、公正、迅速、誠意をもって適正に対応します。事案によっては本社統括部署・専門部署と連携します。
- ・よりよい公園利用のためルールの変更等を伴う場合は、現状確認のための調査や、関係団体等の利害関係者との話し合いの場を持ち、主体的に解決に導きます。
- ・地元留原自治会やあきる野市、秋川渓谷観光関係機関協議会等と日常的に意見交換を行い、寄せられたニーズについては丁寧に対応し、地域と連携したサービスの向上や地域の活性化に向けて尽力します。



解決まで
じっくり対応

④ 検証

利用したくなる公園に向けて改善！

- ・対応終了後も、随時対応内容の検証を行い、PDCAサイクルにより継続的な管理運営の改善に継続して取り組みます。
- ・類似苦情の防止のために随時マニュアルの改訂や、他グループの公園にも「利用者の声登録システム」対応策を共有し、管理水準を向上させます。

⑤ 管理運営の改善

- ・だれもが気持ちよく公園を使えるように管理に反映していきます。

管理運営に
フィードバック

里山満喫
サービス

あらゆる人が楽しめる 実績ある満足度の高いプログラム

田んぼ、畑、雑木林など、園内の里山環境を活かし、1年を通じて多様な利用者ニーズに応えるイベントやプログラムを実施します。また、周辺の史跡や古道を活用したプログラムも提供します。

企画にあたっては、「小峰型ボランティア」や地域住民、あきる野市市民解説員等の協力を得て、誰もが満足できる質の高いプログラム開発を行います。

昔ながらの里山の暮らしを体験！

谷戸田の稲作・畑作プログラム

田起こしから田植え、除草、案山子づくり、収穫、翌年の土づくりなど1年を通じた米作りや周辺地域で多く栽培されているジャガイモ等の野菜作りを体験し、里山の暮らしと生きものを身近に感じ、食育にもつながるプログラムを継続します。



「秋川谷」の歴史・文化体感プログラム (古道めぐり・炭火おこし体験)

檜原村からつながる「秋川谷」の炭文化を伝えるプログラムとして、園内の桜尾根に残る八王子みちの痕跡、周辺地域の史跡や遺構、古道をめぐるとツアーを実施します。また、炭火おこし体験を通じて、地域に残る里山暮らしの文化を継承します。



だれもが自然公園を体験できる
オリジナルプログラム！

オーダーメイドプログラム

近隣保育園の里山体験プログラムや社会福祉施設での出前講座など、多様なニーズに柔軟に対応したオーダーメイドプログラムを実施



教育者向けプログラム

教育者向けティーチャーズガイドを活用していただくため、人気の「探してみよう！ひつつき虫」、「ネイチャービンゴ」等の解説動画をSNS等で発信！



里山の思い出を
持ち帰ろう！

自主
事業

公園ノベルティグッズの販売

檜原村に拠点を置く(株)東京チェーンソーズのカプセルトイ販売に加え、園内等で撮影した写真を活用した絵葉書やバッジなどのグッズを販売



地域の特産物の販売

収穫市での地元農家や周辺地域の協力による地場産野菜、あきる野市や地元企業等のオリジナルグッズの販売



戦略的広報

都内全域をカバーするチャンネルから 認知度の向上を図る

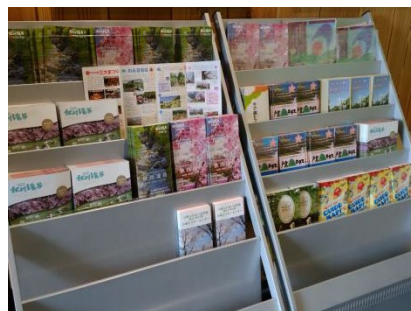
「新しい日常」の中でも安心してご利用いただける施設として、ビジターセンターを拠点に小峰公園をより多くの方にご利用いただくため、公園協会ならではのネットワークを活かし、様々な機関と連携した多様な手法で広報・情報発信を進めます。 広報活動を通じて、小峰公園だけでなく、秋川渓谷全体の魅力をさらに幅広くPRしていきます。

●小峰公園×組織力

▶ 公園協会が管理する他の都立公園・施設等でも小峰公園の自然やビジターセンターの取組を紹介し、認知度の向上と新規来園者誘致を図ります。

●小峰公園×地域の力

▶ あきる野市や秋川渓谷観光関係機関連絡会に参加する観光施設、JR等の公共交通機関、京王グループ(TAMa-GO・西東京バス)等と連携し、市報や広報誌、Maas アプリへの掲載、パンフレット配布やポスターの掲出等を行います。また、合同での観光キャラバン、市内イベント等に参加し、秋川渓谷の外へ向けて広域的に地域のPRを行います。



●小峰公園×WEB

▶ 都立公園公式サイト「公園へ行こう！」内の専門サイト「自然公園へ行こう」やSNSを活用し、東京都内外に魅力を発信します。

- ・自然解説員による「レンジャーブログ」
- ・園内での体験イベント、ボランティア活動などの様子や成果
- ・公園及び秋川渓谷で実施の生物調査結果 など

▶ Twitter や YouTube などの活用により、美しい自然の姿やリアルタイムな公園の最新情報を提供します。



●小峰公園×広報メディア

▶ 地元の新聞社、各種出版社やマスコミなどを活用し、イベントや季節に応じた見どころ等を掲載します。

●小峰公園×自然公園ネットワーク

▶ 檜原都民の森や他のVC等、自然公園施設や関連団体のネットワークを活かした情報発信を行います。



地域連携
協働

小峰公園がコーディネーターとなって 地域全体を盛り上げる連携事業

私たちは、あきる野市をはじめとする自治体や関係施設、ボランティア等と一体となり、地域との信頼関係に基づく豊富な管理運営実績を有しています。今後は更に、関係者同士をつなぐコーディネーターとしての取組を進め、公園の魅力の向上や広域的なPRを行い、地域振興にも力を発揮していきます。

●小峰公園×ひと

都民協働型の生きもの調査プログラム UPDATE!

- ▶ 国蝶オオムラサキやトンボ類の調査体験プログラムを実施し、都民協働によるモニタリング調査の機会を提供
- ▶ 環境省「モニタリングサイト 1000 里地調査」への参加を継続し、園内生息動物の調査を実施
- ▶ モニタリング調査結果を、外部専門機関等に情報提供し、秋川渓谷全体の生態系把握に協力



「小峰型ボランティア」の活動の拡充

- ▶ モニタリング調査や里山保全活動に必要な知識、スキルが身に着く研修を、OJT も含めて実施
- ▶ あきる野市市民解説員等と連携し、公園から飛び出し、秋川渓谷全体をフィールドとした活動を支援

民間企業との連携

- ▶ CSR 活動の受入を継続
- ▶ 檜原村を拠点とする (株)東京センサーズと連携した園内活動実施

社会福祉施設との連携

- ▶ 障がい者福祉施設等に体験プログラムを提供(オーダーメイドプログラム)し、社会参加につながる活動に協力

教育機関との連携

- ▶ 大学や専門学校からのインターンシップの受入などを継続
- ▶ 環境教育プログラム、ティーチャーズガイドを提供、主体的な活動を推進



●小峰公園×まち

地域の生産者との連携

- ▶ 秋川漁業協同組合と連携した在来種の DNA を受け継いだ鮎等魚類の展示
- ▶ 秋川渓谷観光関係機関連絡会の参加企業・団体や地元のファーマーズマーケットと連携し、地域の特産品(秋川牛、のらぼう菜)、地域ブランド商品などを PR

自治体との連携

- ▶ 地元あきる野市のほか、檜原村等近隣自治体・施設と連携し、相互での情報発信や収穫市等のイベントへの協力体制を継続



業務効率化

各種レスの推進やSDGs・環境配慮の取組による効率的な公園管理

SDGsの目標達成に向け、環境問題への関心が高まる時代の中で、都立の自然公園として効果的な管理を行うことが求められています。私たちは、「多摩の里山 見本園」を持続可能な里山環境として次代に継承していくため、ICTを活用した業務効率化、資源のリサイクルなどに積極的に取り組み、SDGsや環境保全に貢献します。

●公平・平等な管理運営に向けた業務効率化

マニュアル化の推進

利用者にいつでも公平・平等なサービスを提供するため、VC業務のマニュアル化、リスト化を推進

選択的除草、サインデザイン等の既存マニュアルは、状況に合わせて随時更新

組織的な業務集約

VCの管理運営業務のうち、休館日の問合せ対応や他の公園と共通する事務処理等を本社統括部署・専門部署に集約し、公園協会が持つ組織の力で効率的に業務を推進

●ICTの活用による利用者の利便性の向上

DXサポートによる管理水準向上

イベント受付のWEB化により利用者の利便性を向上

SNSの自動リサーチにより効果的にニーズを把握し、VCの展示やイベントに活用

VCに清掃ロボット等を導入し、清掃を効率化、衛生水準を向上

情報アクセシビリティ向上

セルフガイドに、いつでも、どこからでもアクセスでき、ペーパーレスにもつなげるため、公式サイト「自然公園へ行こう！」への掲載を継続

NEW!



●里山環境に配慮したSDGs推進

発生材の活用

伐採後の樹木や谷戸田・畑作業の発生材は、園内の土留め材や展示物製作、エコスタック(生きものの住みか)クラフト講座などの材料としての有効活用を継続



環境配慮材の活用

チェーンソーオイルや園内で使用する資材(テープ・ロープ)等を機能を担保した範囲で、生分解性製品の導入を推進

NEW!

イベント等を通じたSDGs普及啓発

イベントやプログラムの中でSDGsや環境保護の重要性を伝え、広く普及啓発活動を実施



UPDATE!

再生可能エネルギー利用の推進

VCで使用する電力に再生エネルギー由来の電力へ、また、動力工具は順次電動工具へ切替を目指し、適切な製品の検討、選定を実施

NEW!

Ⅱ 事業計画 ▶ 2 運営計画 ▶ (7) 運営業務計画書(年間予定)

運営業務計画書(様式8-2)

- ・「東京都立小峰公園指定管理者仕様書」の「6(3)管理運営業務等」の内容を踏まえてください。
- ・本事業計画の「Ⅱ 事業計画」の「2運営計画」で申請者が示した内容に基づいて、作成してください。
- ・実施予定時期を矢印(→)で示すとともに、内容を記述してください。行が不足する場合は適宜、追加してください。

項目	実施場所/業務内容等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園運営業務													
利用者接遇	ビジターセンター、園内	受付、案内、巡回、自然公園利用指導等											
業務報告	ビジターセンター、園内	報告書作成											
利用者要望、満足度の把握	ビジターセンター、園内	履行確認											
利用者要望、満足度の把握	ビジターセンター、園内	顧客満足度調査他、アンケート調査の実施											
防災対策	ビジターセンター、園内	防災訓練実施、震災時点検マップ作成等											
環境教育活動業務													
解説活動 (バーバルインタープリテーション)	ビジターセンター、園内、 秋川丘陵自然公園等の周辺エリア	自然解説、スライドショー等の実施											
		谷戸田の稲作(9回)プログラムの企画実施(公募)											
		畑作(4回)プログラムの企画実施(公募)											
		里山暮らし・歴史プログラムの企画実施(公募)											
		オーダーメイドプログラムの実施											
解説活動 (ノンバーバルインタープリテーション)	ビジターセンター、園内、 秋川丘陵自然公園等の周辺エリア	里山季節めぐりの実施(里山の自然を巡るガイドウォークと里山の自然素材を活用したクラフト体験を午前/午後に分けて実施)											
		自然情報ボード更新(毎日)											
		展示の企画・作成・更新(年4回の定期更新・随時更新)											
		セルフガイドツール・ティーチャーズガイドの企画・作成											
広報業務													
広報活動	ビジターセンター、園内	HPの更新・充実(インバウンド対応、成果発表含む)											
		「小峰だより」の配信(毎月)、メールマガジン発行(毎月)											
		パンフレット類の情報更新											
		広報媒体・広報チャンネルの活用											
情報収集業務													
自然情報収集活動	園内、秋川丘陵自然公園等の 周辺エリア	エコモニタリング調査の実施											
人文情報収集活動	園内、秋川丘陵自然公園等の 周辺エリア	プログラム資源調査の実施											
ニーズ把握活動	ビジターセンター、園内、 秋川丘陵自然公園等の周辺エリア	物品販売等におけるニーズ把握調査の実施											
地域連携・協働推進業務													
地域イベントの開催	ビジターセンター、園内	里山にぎわいプログラム											
地域イベントへの参加	ビジターセンター、園内、イベント開催地	夏祭り等											
都民協働活動	ビジターセンター、園内、 秋川丘陵自然公園等の周辺エリア	ボランティア活動・支援の企画実施											
		都民協働による生きもの調査の実施											
地域での連携活動	ビジターセンター	横沢入等の地域団体・組織との情報連絡(定例会議年3回)											
企業との連携	園内	企業CSR活動等の実施(定例2回/年、随時対応)											
学校との連携	ビジターセンター、園内	職場体験・インターンの受け入れ等(定例2回/年、随時対応)											
公園との連携	小峰公園、連携先	神代植物公園、植物多様性センター、都市公園、VC等との連携											
物品販売													
物品販売	ビジターセンター	来園者の利便性に資する物品・小峰公園独自の物品の販売											

維持管理方針

誰もが笑顔になれる安心・快適な公園環境の提供

秋川渓谷ならではの生物多様性豊かな里山景観及び歴史文化資源を大切に、利用者や地域住民のニーズや社会情勢に柔軟に対応し、公園と地域の魅力を創出し、利用者の笑顔につながる維持管理を継続します。

安心で快適な維持管理

- ▶ 予防保全的観点から日常的な施設の巡回点検を行い、異常発見時には最適な工法や費用を検討し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を追求した維持管理の継続
- ▶ 利用者、地域住民の声を柔軟に反映した安全・安心・快適性向上のための取組
- ▶ 多言語やピクトサインに加え、QRコードなどスマートフォンを活用してアクセスできる園内利用案内の充実
- ▶ 施設の補修や草刈作業時には、利用制限に関する情報を事前に園内掲示、SNS等で発信

倒木等事故を防止する樹木管理

- ▶ 定期点検のほか、大雨や強風予報時には事前特別点検を実施
- ▶ 落枝や掛かり枝発見時は早急に除去等の安全対策を徹底
- ▶ 腐朽等の異常発見時は、本社専門部署所属の樹木医等による点検・診断を行い、安全を最優先に対処
- ▶ マツ・ナラ枯れ・クビアカツヤカミキリ被害の早急な発見と、伐採処理や防除措置を徹底して被害拡大を防止



VCの衛生管理の徹底

- ▶ 定期的に展示物等を確認し、アルコール消毒等による拭き清掃を行う等、衛生管理を徹底
- ▶ 子ども達が手にとる可能性のある展示物等は、形状や材質等に配慮し、誤飲や怪我等の危険がないように日常点検を徹底

新型コロナウイルス等感染症への対策

- ▶ 3密対策を徹底し、マスク着用等の注意喚起や施設の利用調整を実施
- ▶ 手を触れる展示には抗ウイルスシートを設置
- ▶ 窓口での飛沫防止シートや入口にアルコール消毒剤等衛生備品を設置
- ▶ こども部屋へのパーティション設置



自然公園ならではの注意喚起

- ▶ 園内で見られる外来生物やマムシやヤマカガシ、スズメバチ等の危険生物を注意看板やVCでの実物展示で情報提供と注意喚起し、危険性が高まる季節に重点的に実施
- ▶ 利用者危険を及ぼす恐れのある有刺植物や有毒植物等については速やかに除去を実施
- ▶ だれもが自然公園の安全な利用を学べるセルフガイドやハイキングマップを提供、公式サイト「自然公園へ行こう！」でも発信
- ▶ 利用者のごみの持ち帰りなど「東京都自然公園利用ルール」の普及啓発活動や、ペットボトル飲料の分別回収を推進

スズメバチ注意

DANGER Wasp

園内でスズメバチが目撃されています。
ハチが去るまで静かに待ち、その後静かにその場を離れてください。
散策の際は十分にご注意ください。



◆ 刺されないために…

ハチと出会っても、走って逃げたり、手で払わないようにしましょう。
ハチが去るまで静かに待ち、その後静かにその場を離れてください。
If you meet a wasp, don't run away or eliminate it.
Wait quietly for the wasps to leave, then quietly leave.

小峰ビジターセンター Tel:042-595-0400

安全対策

利用者の安全を最優先にした対策・対応

私たちは、自然公園である小峰公園と周辺地域の活動拠点であるビジターセンターとして、園内外の最新情報を収集し、秋川渓谷の散策、登山等を楽しむ利用者に、安全・安心な環境を提供します。地震や気象災害の発生に備え、事前の準備や訓練等を行い、万が一の時の対応を適切に実施します。

●事故を未然に防ぐための安全対策と発生時の対応

自然公園施設ならではの安全体制・対策

- ▶ 安全管理マニュアルに基づく危険予知(KY)ミーティングを実施し、**ボランティアを含めた全員で事故リスクを共有**
- ▶ **作業前の十分な安全領域確保や事前周知**により、利用者及び作業員の事故リスクを回避
- ▶ 病院、警察、消防、市役所、地元関係機関等を含めた「**事故発生時緊急連絡網**」を常備、共有
- ▶ 公園施設の電気設備、消防設備等の**法定点検及び巡回時の日常点検**を着実に実施
- ▶ **登山届ポスト設置等による山岳救助隊との連携**による秋川渓谷での登山事故リスクへの備え、災害等の情報共有による事故の未然防止



動植物による事故防止

- ▶ 園路・広場の樹木の安全管理を徹底し、**倒木や落枝を防止**
- ▶ 利用者に危険を及ぼす**有刺植物や有毒植物の除去**
- ▶ あきる野市と連携し、農作物の食害を引き起こすアライグマ等**外来動物の捕獲のため、かご罠等の設置に協力**
- ▶ 園内で**クマが目撃された場合には、速やかに多摩環境事務所**に報告、**周辺地域での目撃情報も含めて、園内での注意喚起**を実施

事故発生時の対応

①けが人の救助

- ◆けが人の救助を最優先
- ◆立入禁止や使用禁止措置での安全確保

②関係者への連絡

- ◆けが人の身元を確認し家族等に連絡
- ◆都等の関係機関へ報告

③原因究明と再発防止

- ◆安全対策推進委員会を開催して原因究明や再発防止策を実施

④情報の共有

- ◆速やかな情報共有を実施し再発防止徹底

けが人を優先した
冷静・確実な対応で
再発防止を徹底

●自然災害に対する事前の備えと発生時の対応

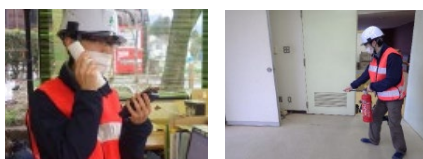
事前の備え

気象災害

- ①**気象情報会社と連携した情報収集**
関係職員に自動配信される局所的集中豪雨や落雷等の気象情報をもとに、巡回等により注意喚起
- ②**緊急配備体制の確保及び事前の取組**
「大雨、風害」と「雪害」ハザードマップを活用した事前点検及び排水確保、危険枝除去等を実施
冠水被害履歴箇所への排水改良・浸水対策を実施・土砂災害の危険性のある急傾斜地を立入禁止にするなど、注意喚起を実施

地震災害

- ①**震災対応訓練の実施**
公園協会震災対応マニュアルに基づく定期的な訓練を実施



発生時の対応

- ①**被害状況の把握の安全の確保**
安全確保後、巡回調査を実施し、東京都及び市、警察、消防等の関係機関に対して状況を適宜報告
- ②**復旧作業**
被害のうち、軽微なものは速やかに復旧作業を実施
重大被害の本格復旧については東京都と連携して対応



- ①**情報連絡体制の確保・現状把握**
非常配備態勢の整備、情報連絡体制の確保
ライフライン機能の状況把握と復旧を実施し、避難者へ情報提供
危険箇所は立入制限措置を行い、被害状況を報告
- ②**復旧作業**
緊急度に応じた行動計画を立て、都と連携し復旧

植生管理

懐かしい里山風景を未来へ伝える植生管理

秋川渓谷の歴史と文化の中で育まれた小峰公園の懐かしい風景と多様な生きものたちを、「多摩の里山 見本園」にふさわしい景観、生態系として守り育て、次世代に継承していく植生管理を実施します。

●里山ならではの生態系を守る植生管理

多様な生きものが暮らす 草地環境の保全

- 草丈の高い草地に生息するバツタ類やカマキリ類の生息環境を確保するため、草刈時には刈残し(エコパッチ)を創出するなど、里山ならではの生物多様性を意識した植生管理を実施



谷戸田の 水辺環境保全

- 園内の枯れ枝の焼却処理を行い、発生した草木灰を肥料として土にすき込む循環型の水田管理を実施
- 谷戸田の景観保護のため、イネの健全な生育を阻害する外来植物を除草



在来種を守る 外来種の駆除

- 捕食圧を抑え、在来種の減少防止のため、アメリカザリガニ等外来生物を駆除
- 池の水面被覆を防ぎ、トンボ類の活用可能な開放水面を創出するため、キシヨウブ等の外来植物を除草



●歴史ある景観を未来に残す

桜尾根の保全 ～地元で愛されてきた桜尾根の景観を将来に継承するために～

- 公園協会所属の樹木医による講習を受けた樹木点検員が、日常巡回の中で古木の状況確認、危険木・支障枝等の点検を実施
- クビアカツヤカミキリ等の病害虫については、公園協会が有する社内外の専門部署との連携を活かし、他の都立公園等との情報共有を密に行いながら、徹底した予防・拡大防止対策を実施



これまでに蓄積した樹木点検や活力度等の診断結果をもとに、危険木の伐採、後継樹の育成、補植等の中期計画作成を目指します。作成にあたっては、桜尾根を愛する地域住民の心情に配慮し、都立の自然公園としての風格を保てるよう、本社専門部署と連携しながら、東京都との調整、協議を綿密に、丁寧に行ってまいります。

●自然豊かな環境をともに守り育てるサポーター

雑木林保全×企業

雑木林の林床整備や針葉樹林の樹種転換等を促進するため、企業 CSR 活動や檜原村を拠点とする(株)東京チェーンソーズ協力によるプログラム運営等を実施します。

プログラム連携 ×自治体・近隣施設

環境学習や保全活動体験等のプログラム提供により、あきる野市や近隣自治体、教育施設、福祉施設等との連携を強化します。

谷戸田・畑の環境管理 ×派遣型ボランティア

谷戸田・畑の環境向上や草地の植生管理の充実を図るため、ワークキャンプやレンジャーズプロジェクト等、外部の派遣型ボランティアに活動の場を提供します。

稀少動植物
保全

綿密な調査と専門家・都民と連携した 保全活動を通じて価値を継承

「多摩の里山 見本園」である小峰公園に残された貴重な生きものたちを守り、里山の持つ価値や役割を次世代に残していくため、生物多様性保全活動を推進します。

長年蓄積したデータを基に、絶滅危惧種(東京都 RDB で VU 以上)や主な注目種(小峰公園の環境を象徴し、特に推移を見守るべき種を選定)を中心に、神代植物公園植物多様性センター等の社内の専門部署と連携しながら、調査、研究の成果を保全活動に活用し、様々な取組の中で普及啓発してまいります。

●保全の対象

	絶滅危惧種(VUより上位)	主な注目種
植物	トキホコリ、ヤマホオズキ、ツレサギソウ、センブリ、ステゴビル、エビネ、ギンラン、ノコギリシダ	キンラン、チダケサシ、イガホオズキ、ソメイヨシノ、ヤマザクラ、ヤマユリ
哺乳類	カヤネズミ	ムササビ、キツネ、ノウサギ
鳥類	コサメビタキ、サンコウチョウ、センダイムシクイ、ウソ	オオルリ、クロツグミ、ツツドリ、アオゲラ、アカゲラ、イカル、ミソサザイ、トラツグミ
爬虫類	ニホンマムシ、ヤマカガシ	ジムグリ、シマヘビ、ヒバカリ、シロマダラ
両生類	トウキョウサンショウウオ、アカハライモリ、トウキョウダルマガエル、ツチガエル、ヤマアカガエル	タゴガエル、モリアオガエル、シュレーゲルアオガエル、カジカガエル
魚類	—————	ドジョウ
昆虫	キイトンボ、オオイトンボ、ルリボシヤンマ、ヒメアカネ	ヤマトタムシ、ゲンジボタル、オオムラサキ、スミナガシ、クルマバッタ
甲殻類	—————	サワガニ
クモ類	—————	カネコタテグモ、オオトリノフンダマシ、トゲグモ

●保全のプロセスと普及啓発

調査・研究

職員による調査

- 日常巡回
- エコモニタリング調査(秋川渓谷内稀少動植物の調査)

都民協働・地域連携調査

- 参加型生物調査プログラム
- 環境省「モニタリングサイト1000 里地調査」参加
- SNS を活用したモニタリングや大型哺乳類の目撃情報調査
- 大学等研究機関との連携調査

獣害に関する調査

- イノシシ生体・痕跡調査
- ニホンジカ生体・痕跡調査



保全活動

職員・連携による保全

- 選択的除草マニュアルを活用した除草や受粉作業
- 盗掘や捕獲の未然防止策
- 希少植物は検討の上、必要に応じ移植

重点動植物の保全

- 国蝶オオムラサキを利用者・ボランティアと協働で保全



普及啓発

広報物・セルフガイド

- 紙面や web を活用し、都内外に発信

次世代への継承

- ティーチーズガイド等のニーズに合わせた普及啓発、子どもたちへの教育利用

社内専門部署との連携

- 希少植物ツレサギソウを神代植物公園植物多様性センターと連携して培養・育成・保全
- 本社専門部署と生物多様性環境向上に関する連携



展示・解説

- 希少種については盗掘等のリスクを考慮しながら情報発信
- 魅力や価値を一部生体展示を用いて発信

プログラム・イベント

- 利用者参加型保全活動

Ⅱ 事業計画 ▶ 3管理計画 ▶ (5)管理業務計画書(年間予定)

管理業務計画書《様式 8-3》

【管理業務計画書】

「東京都立小峰公園指定管理者仕様書」別紙7「管理運営業務一覧」の「維持管理業務」に基づき、施設管理と園地管理に分けて記入してください。

・本事業計画の「Ⅱ 事業計画」の「3管理計画」で申請者が示した内容に基づいて、作成してください。

・標準的な作業時期を矢印(→)で示すとともに作業内容、標準頻度、留意点等を記述してください。

・管理対象物件や項目を細分化、増加させる場合は適宜、様式の行を増やしてください。

(令和 年度)

項目	内容	予想数量	頻度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	留意点	
維持管理業務																	
施設管理	建物管理	ビジターセンター	361.91 m ²														
		・トイレ・床清掃(直営)	1 式	適宜													
		・トイレ清掃	1 式	6回/年		→		→		→		→		→		→	
		・床ワックス清掃	1 式	2回/年		→	→					→	→				
		・窓ガラス清掃	1 式	1回/年							→	→					
		・照明器具清掃	1 式	1回/年										→			
		・カーペット清掃	1 式	適宜													
	・ブラインド清掃	1 式	1回/年									→					
		休憩舎・四阿	103.82 m ²														
		便所	33.1 m ²														
	・日常清掃	1 式	3回程度/週														
	・消毒	1 式	3回程度/週														
	空調設備保守管理	清掃、点検等	1 式	4回/年		→		→			→			→			
	消防設備保守管理	清掃、点検等	1 式	2回/年			→						→				
	遊器具保守管理	遊器具の保守点検	1 式	毎日【目視】 1回/月【重点点検】 2回/年【業者点検】												年末年始除く	
	電気設備保守管理	電気設備の保守点検	1 式	適宜												照明設備補修時に実施	
園地管理	駐車場、舗装園路	巡回、点検、清掃、保守等	58 a	3回程度/週													
	未舗装園路	巡回、点検、清掃、保守等	2.4 km	3回程度/週													
	植込地管理	植込地	64 a														
		・樹木管理	1 式	適宜													
		・除草、草刈	1 式	適宜													
		・巡回、清掃	1 式	3回程度/週													
	谷戸田管理	谷戸田、湿地	16 a														
		・除草、草刈	1 式	適宜													
		・巡回、清掃	1 式	3回程度/週													
	管理草地	管理草地	66 a														
・草刈り		1 式	適宜														
	・巡回、清掃	1 式	3回程度/週														
樹林地	樹林地(雑木林、植林地、竹林等)管理	926 a															
	・間伐、伐採、除草、草刈	1 式	適宜														
	・巡回、清掃	1 式	3回程度/週														

自主事業

「多摩の里山 見本園」と地域のさらなる魅力向上

小峰公園及び地域の魅力を発信するため、公園を飛び出し地域をフィールドとしたプログラムや民間企業等との連携によるイベントを自主事業として実施します。有償プログラムの実施や物品販売の際は、キャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性の向上に努めます。

● 地域や企業との連携を発展させた、地域をまるごと満喫する自主事業

NEW!

秋川渓谷マイクロツーリズム・宿泊プログラム

小峰公園を起点とした秋川渓谷を満喫できる宿泊型マイクロツーリズムのプログラムを検討します。

企画に当たっては、あきる野市や秋川渓谷観光関係機関連絡会の参加施設・企業と連携したプログラム作成、広報等を行い、地域の活性化につなげます。

【連携先(予定)】

秋川渓谷戸倉体験研修センター 戸倉しろやまテラス
京王グループ (TAMa-GO・西東京バス) 等



戸倉しろやまテラス
(あきる野市提供)



TAMa-GO
(京王電鉄提供)

小峰の思い出グッズ販売 UPDATE!

園内の生きものを題材とした缶バッジや多摩産間伐材を活用したカプセルトイ等、小峰公園ならではのノベルティグッズを販売。秋川渓谷の思い出を持ち帰っていただきま



「多摩の里山」満喫有料プログラム UPDATE!

夜の自然観察会やあきる野市内の観光施設をめぐるツアー、檜原村を拠点とする(株)東京チェーンソーズ等の地元企業と連携した里山保全プログラムなど、いつもの小峰公園とは少し違う、ワンランク上のプログラムを有料で提供します。



里山賑わいプログラム 小峰ふれあい自然郷収穫市 UPDATE!

地元農産物の販売や、ボランティアや地域連携によるアクティビティの提供等で、秋川渓谷を盛り上げるプログラムを開催します。



地域のファーマーズマーケット出展

市内で開催されるマルシェやファーマーズマーケットなどに出展し、秋川渓谷の中での小峰公園、活動拠点としてのビジターセンターをPRします。



1 支出計画

単位:千円

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
支出	31,955	31,955	31,955	31,955	31,955	159,775

2 物販収支計画

単位:千円

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
収入	270	270	270	270	270	1,350
支出	52	52	52	52	52	260
収支	218	218	218	218	218	1,090

※端数処理を四捨五入により行っていることから、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。